

目次

- 1 九州運輸局ホームページアップ情報（2月12日～2月18日掲載分）
- 2 現場レポート
 - ・グリーン経営推進講習会を開催！
 - ・運輸局に「未来」がやってきた？～トヨタ燃料電池車「MIRAI」～
- 3 イベント情報

1 九州運輸局ホームページアップ情報 （2月12日～2月18日掲載分）

----- 報道発表 -----

九州の外国人入国者数の推移について

～平成26年12月（速報値）・平成25年入国者数の訂正～

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press2015-0213-kokusai.pdf>

一般自動車道「久住高原ロードパーク」の使用料金の変更認可について

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press2015-0217-ryokaku01.pdf>

----- お知らせ -----

貸切バスの運賃・料金制度について

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001_022/2015-0217-ryokaku01.htm

----- 各種情報 -----

《入札・契約情報》

物品・役務入札公示

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#BUPPIN_CHOTATSU

企画競争結果の公表

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#KIKAKU_KEKKA

《行政処分状況》

個別の事業者に対する行政処分等の状況はこちら

（一般乗合旅客 27年1月分追加）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/noriai/niriai26.htm>

（一般貸切旅客 27年1月分追加）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/kasikiri/kasikiri26.htm>

（一般乗用旅客 27年1月分追加）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/jyouyou/jyouyou26.htm>

（一般貨物 27年1月分追加）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/KAMOTU/kamotu26.htm>

（一般貨物（過積載） 27年1月分追加）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/KAMOTU/kasekisai26.htm>

----- 分野別情報 -----

《バス・タクシー・トラック》

バス（バスの申請・処分状況 1月分掲載）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/bus/bus_syobun2701.pdf

トラック（トラックの申請・処分状況 1月分掲載）

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/truck/truck_syobun2701.pdf

タクシー（タクシーの申請公示状況 2月12日公示掲載）

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/taxi/taxi_kouji270212.pdf

自家用有償運送関係公示等

福祉有償運送運営協議会設置状況（新規掲載）

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/jidousya_k/file14/jika14-20150216.pdf

----- 各種手続き -----

海技試験制度、日程・合格発表

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/kaigisiken/body.htm>

2 現場レポート

グリーン経営推進講習会を開催！

九州運輸局交通環境部は、去る2月12日（バス・タクシー事業者向け）及び13日（港湾運送・倉庫・内航海運・旅客船事業者向け）に、北九州市においてグリーン経営推進講習会を開催しました。

地球温暖化問題は、将来、異常気象や海面上昇、食糧危機、水不足などが発生する恐れがあると予測されていることから、今や人類共通の課題です。我が国のCO2排出量の約2割を占める運輸部門においても、地球温暖化対策として、環境に配慮した経営（グリーン経営）を推進することが重要です。

国土交通省と（公財）交通エコロジー・モビリティ財団では、運輸事業者を対象に「グリーン経営推進マニュアル」を作成し、中小規模の事業者でも容易にかつ継続的に環境保全に取り組むことができるグリーン経営の普及を推進しており、一定レベル以上の取り組みを行っている事業者に対して認証・登録を行っています。

講習会では、（公財）交通エコロジー・モビリティ財団の加藤交通環境対策部長を講師に迎え、グリーン経営の認証取得のメリットや手続きの進め方等について、各輸送モード毎に分かりやすく説明していただき、参加された皆さんは熱心に耳を傾けていました。

今回も九州各地から多数の方が参加され、昨年8月の鹿児島市、9月の熊本市での開催を合わせると約100名の方が受講されました。今年度の講習会は今回で終わりですが、来年度も、環境改善だけでなく、燃費向上や交通事故・車両故障の削減にも効果があるグリーン経営の普及推進に努めて参ります。

グリーン経営については、下記URL（公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団HP）からどうぞ。

<http://www.green-m.jp/>

【交通環境部 環境課】

運輸局に「未来」がやってきた？

～トヨタ燃料電池車「MIRAI」～

去る2月10日、九州運輸局が入居しています福岡市の福岡合同庁舎にトヨタ自動車が昨年12月に発売を開始した燃料電池車（FCV）「MIRAI」がやってきました。

国土交通省では、電気自動車等を活用し、他の地域や事業者による電気自動車の導入を誘発し急速に普及が伝播するような先駆的事業を行う自動車運送事業者等を重点的に支援する「地域交通グリーン化事業」を実施しており、導入費用の半分の補助することとしています。

本年1月、福岡県北九州市（1社）及び福岡市（4社）において、全国初となる燃料電池車（FCV）タクシーに係る事業計画を、「地域交通グリーン化事業」の支援対象とする案件として決定されたところです。

今回、当庁舎に「MIRAI」が持ち込まれたのは、タクシーとして使用するにあたってトヨタの試乗車を持ち込んでいただいたのですが、まだ街中でも目にすることのない車。

にわかに、展示会状態となり、合同庁舎にお越しのお客様も写真を撮られる大人気ぶりでした。

燃料電池車は、燃料の水素と空気中の酸素を反応させて電気をつくり、モーターを回して走行する自動車で、水だけを排出します。CO₂を出さないのので、まさに究極のエコカーと言えます。

2月12日には、福岡県が公用車として、続いて福岡市、北九州市、九州大学と「MIRAI」の導入は続き、今後5台の燃料電池車（FCV）タクシーも福岡市や北九州市を走ることとなります。街中を走る「MIRAI」タクシーをお楽しみに。

持ち込まれた「MIRAI」の画像は以下のURLから

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_297_1.pdf

【自動車交通部 旅客第二課】

3 イベント情報

2015長崎ランタンフェスティバル

日時：平成27年2月19日（木）～3月5日（木）

場所：長崎県長崎市新地中華街、観光通りアーケード、中央公園 他

概要：中国の旧正月を祝う行事「春節祭」を起源とする、長崎の冬の一大風物詩。

長崎新地中華街をはじめ、湊公園、中央公園、観光通りアーケードなど長崎市内の中心部に約15,000個にも及ぶ極彩色のランタン（中国提灯）や、大型オブジェが幻想的に飾られ、街を彩ります。

期間中は毎日各会場で、龍踊り、中国雑技、二胡演奏など中国色豊かなイベントが繰り広げられ多くの人で賑わいます。

吉野梅まつり

日時：平成27年2月15日（日）～3月8日（日）

場所：大分県大分市杉原 吉野梅園 梅の木天満社

概要：龍が地に臥した姿に似ていることから名前が付けられた「臥龍梅」を含む、

豊後梅、青軸梅、白加賀（しろかが）、寒紅梅など様々な種類の梅の木、約450本が見頃を迎えます。祭り期間中の日曜日にはイベントも行われます。

//////// 編集部より //////////////////////////////////////////
世の中には多くの「日本三大」と言われるものがあり、納得のものもあれば、「???」というものもあるようです。

先日通勤の途中スマホをいじっていましたが、日頃から薬味などでお世話になっている「博多万能ねぎ」が群馬の「下仁田ねぎ」、兵庫の「岩津ねぎ」と並び「日本三大ねぎ」と称されているのを見てびっくり。

明日からは、万能ねぎが入ったお味噌汁、一味違うかもしれません。

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。
編集部では、運輸と観光行政に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。
////////////////////////////////////////

本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm

本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html

九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）

mail: gst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192